

Dr's message

白濱圭吾 緩和医療専任部長にきく 「痛みをとり、その人らしく」



先生のご専門は？
白濱 慈恵医大の第三病院内科に居ましたから、なんでも診るよう教育されました。強いといえば消化器、血液がメインで、なかでも肝臓が中心でしたね。

肝臓に興味があったのですか。
白濱 ええ、高邁な目標ですが、人工肝臓はできないかと夢を持ちました。血液を濾して肝臓の機能を代用させる。生体肝移植はできませんが、まだ夢の段階です。

肝臓の機能はわれわれによくわかりませんが、大事なんですよね。
白濱 肝臓の肝ですから。大きい働きは蛋白をつくらせて血液に流す。アルコールを消化する酵素もつくりま

だから飲みすぎると肝臓によくない。
白濱 休肝日といいますが、週に2日くらいは休ませてほしい。1回日本酒1〜2

合までで。飲みすぎるとクスリが効きにくくなります。沈黙の臓器ともいわれます。白濱 自覚がなく進行するのがこわい。ただ血液検査やおしっこの色でわかることがあり、肝炎はだるさの症状が出ます。慢性肝炎でも(症状が)出る人があり、なんでもない人があり、いろいろです。

で、夢の人工肝臓が出現すれば救えますか
白濱 どの機能を代行するか、ですね。解毒作用もあるし、すべての機能を備えたものができるのは、まだ夢です。

先生は緩和ケア病棟(南棟10階)の責任者でもあります。緩和の問題に関心を持ったきっかけは？
白濱 もともと興味がありました。山崎章郎先生の「病院で死ぬということ」を読んだのが大きい。1990年に出た本ですが、末

期のがん患者さんが「娘の結婚式に出たい」と切望されて、車椅子を持っていて願いを叶えてあげてくたがります。死を覚悟した患者さんの生き方のお手伝いをしたいと思いました。

緩和ケア病棟は2009年4月から開設されました。その目的は？
白濱 私は設立委員会から参加しました。病棟は新棟ができたときに、10階の見晴らしのいい場所に設置されました。1つは痛みをなくすことです。いまはおおむねとれていきます。

そうですね。痛みは想像しただけで辛いです。
白濱 乳がんの患者さんでしたが「痛みはとってあげますからね」といって、(あとで)「ウソつき」といわれたことがあります。張る感じが痛かったようです。

通常のように活動できるのが理想ですが。
白濱 寝たきりにはしたくない。動けるのが第一です。半分寝たままの状態になっても話せることが第二です。そのために努力しています。

人生のドラマに立ち会わうわけですね。
白濱 若い患者さんの場合はとくに辛いですね。(自分も)泣きながら診察したことがあります。

「だめだ」と覚悟していても、生き抜いてほしいと思います。
白濱 生き抜く意欲を応援したい。そのために痛みを

とり、意識を維持続けていただく。
在宅もあり得ますね。
白濱 「帰りたい」という人には協力して、サポート体制を組みます。在宅はふえていくと考えています。

医師を志した理由は？
白濱 工業デザインの大学に行って卒業して慈恵医大に入りました。医療機械のデザインをやるうと思っていたのですが、先生に「医者になれ」とすすめられました。

変わりダネですね。
白濱 高校同級の親友が医学部の教授になっていますが、私は6年遅れています。でもいまの仕事に使命感を持っていますし、天職と感じたこともあります。

緩和ケア病棟は18床。当院診療科の患者さんが、医師会会員からの紹介患者さんに限っている。



町田市民病院
しろはまけいご
白濱 圭吾 緩和医療専任部長
Profile
昭和61年慈恵会医科大学卒。平成12年から町田市民病院内科勤務。緩和医療専任部長。かたわら週1回内科外来診療も受け持つ。混声合唱団出身。2011年5月、慈恵音楽部100周年記念ではサントリーホールで歌った。



余命何カ月と告知されたとき、残りの時間をどう生きるか。そば打ちの道具一式を持ってきてくれと家族に頼み、病院の食堂でそばを打ち、ゆでて患者さん、スタッフなどに振る舞って亡くなったそば屋さんがいた▼彼には満足感があつたと思う。少なくともなにもしない生活よりはよかつたのではないか。例え短い時間であつても生き甲斐がよみ返つたと考えた▼年の瀬も迫つたころ、友人の著書上・下巻が書店に並らんだ。友人は町田市民病院の緩和ケア病棟に入院、病室で校正刷りに目を通し、締め「あとがき」を書いた▼残念ながら本は彼が亡くなつてから2カ月半後に出来上がった。発病してから執筆をはじめた、ライフワークの集大成というべき大作であつた。恐らく装丁された立派な本を心に描きながら神に召されたにちがいない。その生き方を誇りに思う (四方洋)

2011年度第二回 『町田市病院事業運営評価委員会』開催

2011年度第二回の町田市病院事業運営評価委員会が11月2日、開催されました。当院から「中期経営計画」の2011年度上半期進捗状況、2012年度からの新しい「中期経営計画」(案など)について、報告しました。

委員からは、二次救急病院としてのPRの必要性、災害拠点病院としての機能充実などについて、ご意見・ご提案をいただきました。

ご出席の委員のみなさん
 赤星透(北里大学病院副院長)
 木藤二郎(旭町2丁目町内会長)
 増岡和子(病院ボランティア)
 水町浩之(経営コンサルタント)
 山内芳(税理士)

50音順、敬称略

町田市民病院中期経営計画(2012年度～2016年度)の策定について

町田市民病院中期経営計画(2012年度～2016年度)を、2011年12月に策定しました。

策定にあたって実施したパブリックコメントについて、皆さんから貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。

- 応募者数 14人
- 意見件数 39件
- 主なご意見 救急医療の充実、医療連携の推進、災害時における受入体制の整備、等

言語聴覚士を採用しました

昨年10月1日、当院では初となる言語聴覚士を1名採用しました。現在、リハビリテーション科において、日々、専門的な嚥下訓練や失語症対応などに努めています。

町田市民病院や地域の医療機関との上手なつきあい方

日常的な診療や日々の健康管理をしてくれる身近な地域のお医者さん(診療所・医院・クリニックなど)のことを「かかりつけ医」といいます。かかりつけ医を持つと、これまでの病歴や生活歴・体質などもわかっただけで診察してもらえますから、病気の早期発見や予防にもつながります。大きな病院より比較的待ち時間が短かったり、すぐに検査できたりすることもメリットのひとつです。

もちろん万が一、精密検査や専門的治療・入院などが必要な場合には、町田市民病院を含めて、より適切な病院・診療科を紹介してもらえます。

まずは「かかりつけ医」に

「かかりつけ医」を持たず、かぜなど比較的軽い症状のときに、いきなり大きな病院に行くと何時間も待たなければならないという経験がある方も多いのではないのでしょうか?町田市民病院も外来が大変混み合い、患者さまをお待たせしているのが実状です。

医療機関にはそれぞれ役割や特徴があります。国の方針では、病院はより高度な医療や入院・救急医療などを担当し、医院や診療所・クリニックでは初期診療や家族のきめ細かな健康チェックができる身近な「かかりつけ医」としての機能を、地域で分担するよう進めています。

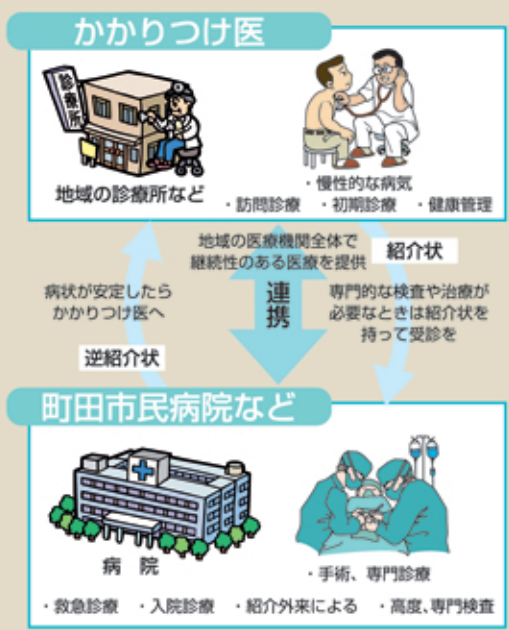
誰もが最初から大きな病院で受診していると、待ち時間が長くなり、一人ひとりの診療時間が短くなります。また、本来病院が主に診るべき入院や手術を必要とする重症の方や、救急診療を必要とする方などのための医療を提供することが難しくなることにもつながりかねません。皆さん一人ひとりが、普段から気軽に受診できる「かかりつけ医」をもっておくことで、このような事態を防ぐことができます。日頃から早めに診察を受けていけば、休日や夜間に救急病院に駆け込むことも少なくなるでしょう。

「かかりつけ医」をお持ちですか?

「かかりつけ医」をお持ちですか?町田市民病院も外来が大変混み合い、患者さまをお待たせしているのが実状です。

医療機関にはそれぞれ役割や特徴があります。国の方針では、病院はより高度な医療や入院・救急医療などを担当し、医院や診療所・クリニックでは初期診療や家族のきめ細かな健康チェックができる身近な「かかりつけ医」としての機能を、地域で分担するよう進めています。

誰もが最初から大きな病院で受診していると、待ち時間が長くなり、一人ひとりの診療時間が短くなります。また、本来病院が主に診るべき入院や手術を必要とする重症の方や、救急診療を必要とする方などのための医療を提供することが難しくなることにもつながりかねません。皆さん一人ひとりが、普段から気軽に受診できる「かかりつけ医」をもっておくことで、このような事態を防ぐことができます。日頃から早めに診察を受けていけば、休日や夜間に救急病院に駆け込むことも少なくなるでしょう。



で通いやすい。②相性がよく気軽に相談できる。③病気がり易く説明してくれる。④必要に応じて適切な専門医を紹介してくれる。といったポイントで選ばれると良いでしょう。

かかりつけ医からの紹介状を

町田市民病院や大学病院などの病院に受診の際は、是非かかりつけ医からの「紹介状」をお持ちになつてくださいます。これまでの治療経過やお薬の内容などがわかり、検査データを利用できることもありますので、診療が無駄なく円滑に行われます。なお町田市民病院では紹介状をお持ちの場合は、初診時の選定療養費(非紹介状)を頂けません。

患者初診加算料) 2,625円(税込)は頂けません。また町田市民病院では、症状がある程度安定した患者さまには、以後の治療経過観察・薬の処方などは、かかりつけ医で受けていただくようお願いしています。その際は、これまでの治療経過、お薬などを記載した「紹介状」をご用意いたします(逆紹介状といえます)ので、かかりつけ医での診療が円滑になります。

ひとつくちに医療機関といっても、いろいろな役割があり、分りづらいたところもあると思います。それでもこれらの事をちよつと知っていることより上手に医療機関を利用することができます。

緊急もしくは重症な患者さまを中心に、入院や手術、検査など、高度で専門的な医療を提供します。「かかりつけ医」の紹介状があれば、すみやかに適正な医療を提供できます。

看護外来スタート!

このたび、当院で「看護外来」がスタートすることになりました。

看護外来とは、認定看護師を中心に専門的な知識・技術を持った看護師が患者さまやご家族からのご相談を受けたり、指導、ケアを行う外来です。医師の指示のもと、患者さまのサポートにあたります。

【糖尿病看護外来(フットケア外来)】

毎週水曜日9時～15時(予約制)

糖尿病の患者さまの「足のケア」「インスリンやお薬」「食事療法」「日常生活」のご相談にあっています。



【皮膚排泄ケア外来(ストーマ外来)】

毎週火曜日9時～15時(予約制)

人工肛門(ストーマ)をもつ患者さまの「ストーマ周囲の皮膚トラブル」「ストーマ装具の選択」「日常生活」の相談にあっています。

【化学療法看護外来】

毎週木曜日9時～15時(予約制)

化学療法をされている患者さまの「化学療法についての質問疑問」「副作用について」「日常生活について」などの相談にあっています。

看護外来の受診は全て予約制になっています。ご希望の患者さまやご家族は、主治医にご相談ください。



皆さんは「認定看護師」という資格をご存知でしょうか。私たちが看護に携わる資格は看護師、助産師、保健師という枠組みに大別されています。最近ではさらに資格認定制度が発足し「認定看護師」「専門看護師」「特定看護師」などの資格が世間でも注目されるようになりました。

「認定看護師」とは、日本看護協会の審査に合格し、21の看護分野において、熟練した看護技術と知識をもつ看護師のことをいいます。看護の現場において水準の高い実践と指導・相談の3つの役割を果たします。

当院では現在6名の認定看護師がいます。

- 小児救急看護認定看護師
- がん化学療法認定看護師
- 糖尿病看護認定看護師

認定看護師を紹介いたします!



- 皮膚排泄ケア認定看護師
- 感染管理認定看護師
- 集中ケア認定看護師

看護部では、この認定看護師を中心にした研修会も開催しています。

今後看護師一人一人が「判断力」「実践力」に磨きをかけ、患者さまに喜んでいただける質の高い、温かな看護を目指してまいります。



入院案内 ボランティアの活動

入院案内ボランティアが始まって2年になります。

入院される患者さまやご家族にそつとやさしく声をかけながら、入院窓口への誘導や手荷物の介助、そして病棟までの随行もいたします。また院内を案内したり相談に対応することもあります。

「気軽に声かけられ親切に対応してくれる。入院への不安や緊張、そして重たい心が一瞬和らぎます」と多くの感謝の言葉をいただいております。

「ボランティア活動を通じて人との出会いとつながり、やりがい、生きがいを得ています」と入院案内ボランティアの皆さんはいつも元気に活動しています。

1階エントランスの入院受け付け入口で、毎日1〜2名の方が交代で対応しています。カワセミのマークのついたベージュのエプロンを着用していますので、いつでも声をかけて下さい。



「キーワードは地域と子ども」 ～J2に昇格して、の思い～

ゼルビアがJ2に昇格しました。市民のみなさんご支援のおかげです。ありがとうございました。チームのはじめは小学校の先生たちの指導でした。各学校で盛んにやっていたんですが、清水市の少年チームにどうしても勝てない。結束して1つのチームをつくり、全国大会で優勝しました。これを中学校、高校と積み上げていった。いつしか町田は「少年サッカーの町」とよばれるようになり、育った選手がプロに入りました。

Jリーグのチームを持ちたい希望は強くなり、誘致する会や実現する会などが出来ましたが、うまくいかず「自前でつくろう」となりました。町田にJリーグクラブを創ろうという運動が起こったのが1992年です。19年かかったわけです。2002年には私が監督を引き受けましたが、教員と2足のわらじでした。当時は観客も多めで数十人、少年サッカーの小さなグラウンドで練習していました。夜8時から11時まで、照明は地域の人にとりつけた機器で。グラウンドがとれない日は多摩境の小山内裏公園を走るだけの練習でした。

ゼルビアというチームは市民運動の成果だったと思います。町田は農村だったのが急速に人口が流入してきてふくれ上がった町です。なにか核になるものがほしい、誇りを持てるようにしたい、その切り口としてサッカーがあったと思っています。私の恩師の重田貞夫先生は「サッカーは運動のいろんな要素を持っている」とおっしゃっていました。小学校で掘り起こったのもその信念があったからです。教材として優れたスポーツでした。子どもたちは簡単にできるものはあきてしまう。手が使えない、足を使う難しさがあるから夢中になれるのです。

キーワードは、だから地域と子どもです。子どものお手本になるサッカー、そしてサッカーを地域に広めることにチームの基本をおいています。ゼルビア?けやきのゼルコバと花のサルビアから合成した造語です。



FC町田ゼルビア代表

守屋 実さん

Profile

守屋 実(もりや みのる)

FC町田ゼルビア代表。NPO法人アスレチッククラブ町田理事長。市職員を経て小学校教員、町田サッカー協会理事長などをつとめた。61才。

2011年度 第1回市民公開講座



11月12日(土)に「みんなで治そう!糖尿病」のテーマで市民公開講座を開催しました。

当日は108人の方が来場され、熱心に講演を受講されていました。

2011年度 第2回市民公開講座のお知らせ

日程：2012年1月28日(土)

テーマ：「こんな時はどうするの?」

～子どもの病気・救急について～

講演者：小児科診療部長 山口 克彦医師

看護部 長谷川 みゆき小児救急認定看護師

内容：お子さんの具合が急に悪くなったなど、子どものいざという時の対応について、小児科の医師と認定看護師がお話いたします。

詳細は広報「まちだ」1月11日号に掲載します。



南側道路を拡張しました
12月19日、町田街道から駐車場への導線です。

ある南側道路の拡張工事が終了しました。工事中は通行に際し、大変なご迷惑とご不便をおかけしました。幅員5.5mを6mに拡張、起伏を大幅に抑えました。本工事は町田市建設部道路整備課の委託事業として行われました。

編集後記

正月には南天の赤が似合います。難転に通じ、縁起のよい言葉とされているとか。難を転じて、希望の年にしたい。去年は本当に大変な年でした。